

情報通信審議会 総会（第52回）議事概要

1 日時 令和7年2月3日（月）13:00～14:14

2 場所 第1特別会議室（Web会議併用）

3 出席者

（1）委員（敬称略）

遠藤 信博（会長）、高田 潤一（会長代理）、浅川 秀之、
石井 夏生利、伊丹 誠、市毛 由美子、内山 隆、大柴 小枝子、
大橋 弘、加藤 寧、閑歳 孝子、桑津 浩太郎、甲田 恵子、
小島 隆洋、竹内 健蔵、丹 康雄、東條 吉純、長谷山 美紀、
藤井 威生、増田 悦子、横田 純子（以上21名）

（2）総務省

阿達 雅志（総務副大臣）、竹内 芳明（事務次官）、
今川 拓郎（総務審議官）、

（国際戦略局）

竹村 晃一（国際戦略局長）、山崎 良志（官房総括審議官）、

（情報流通行政局）

豊嶋 基暢（情報流通行政局長）、玉田 康人（官房総括審議官）、
下仲 宏卓（官房審議官）、内藤 新一（地域通信振興課長）、
牛山 智弘（郵政行政部長）、

（総合通信基盤局）

湯本 博信（総合通信基盤局長）、吉田 恭子（総務課長）、
大村 真一（電気通信事業部長）、
飯村 博之（電気通信事業部事業政策課長）、
荻原 直彦（電波部長）、中村 裕治（電波部電波政策課長）、

（サイバーセキュリティ統括官）

山内 智生（サイバーセキュリティ統括官）

（3）事務局

田邊 光男（情報通信政策課長）

4 議 題

(1) 諮問案件

①「地域社会 DX の推進に向けた情報通信政策の在り方」について

【令和 7 年 2 月 3 日付け諮問第 29 号】

【内容】

日本の地域社会・経済を取り巻く状況、AI を含むデジタル技術の最新動向を踏まえ、地域社会 DX の推進に向けた情報通信政策の在り方について諮問されたもの。

本件は、情報通信政策部会に付託し、審議を進めることとした。

②「社会環境の変化に対応した電波有効利用の推進の在り方」について

【令和 7 年 2 月 3 日付け諮問第 30 号】

【内容】

社会環境の変化に迅速かつ柔軟に対応し、電波の公平かつ能率的な利用を通じて国民生活の利便性向上、地域の課題解決及び持続的経済成長を実現するため、国が取り組むべき電波の有効利用の推進の在り方について諮問されたもの。

本件は、情報通信技術分科会に付託し、審議を進めることとした。

(2) 答申案件

①「市場環境の変化に対応した通信政策の在り方」について

【令和 5 年 8 月 28 日付け諮問第 28 号】

【内容】

「市場環境の変化に対応した通信政策の在り方」について、最終答申（案）について審議したもの。審議の結果、電気通信事業政策部会から提案があったとおり、最終答申（案）を了承し、最終答申とすることとした。

(3) 報告案件

情報通信技術分科会及び各部会の活動状況について

【内容】

情報通信技術分科会及び各部会の活動状況について、事務局より報告があったもの。

本会議にて配付された資料を御覧になりたい方は、総務省ＨＰにおいて公開しておりますので御覧下さい。

また、総務省において、閲覧に供し及び貸し出しておりますので、以下まで御連絡をお願いいたします。

担 当：総務省 情報通信審議会事務局

高橋補佐、岡本補佐、東出係長、斉藤官、松谷官

電 話：０３－５２５３－５４３２

メール johotsushin-shingikai/●/soumu.go.jp

迷惑メール防止対策のため、送信時は/●/を@に置き換えてください。